

「2020176 情報公開用文書 第1版」

救急医学科に入院された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》非閉塞性腸管虚血に対する予後因子と虚血腸管進展の危険因子の検討～second look 手術の有用性の検証

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・救急医学科 病院助教 氏名 中村文子

《研究の目的》当施設当科では、非閉塞性腸管虚血に対しplanned second lookの方針を導入し手術を行っています。今回、臨床成績及び予後因子の検討、さらには、腸管虚血進展の危険因子を検討することを目的としています。

《研究期間》研究許可日～2021年8月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2015年2月1日から2020年9月30日の間に連続して非閉塞性腸管虚血に対し腹部緊急手術を行った16歳以上であり切除標本の病理学的診断で非閉塞性腸管虚血と診断された患者さん

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療成績

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 救急医学科 担当医師 病院助教 中村文子
大阪府枚方市新町2丁目3番1号
電話 072-804-0101（代表）